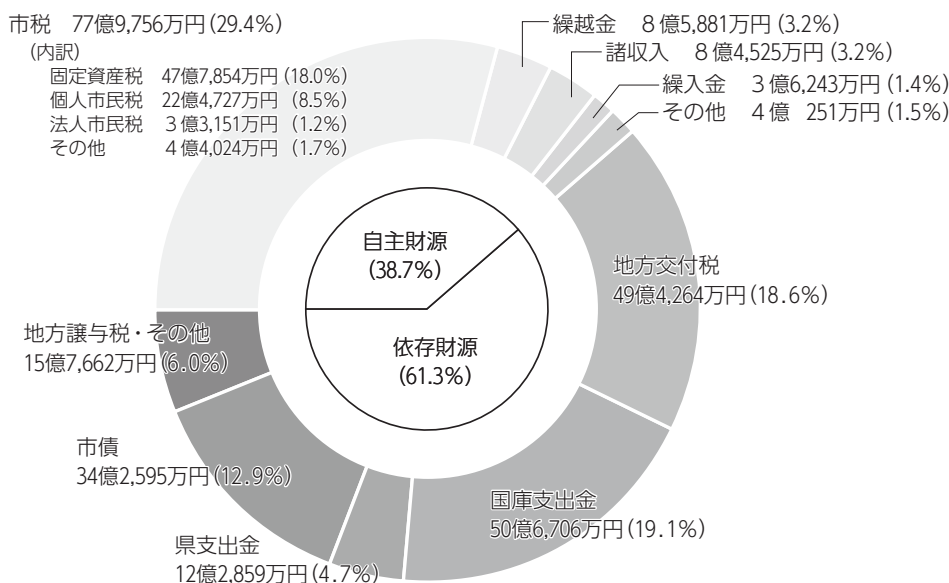


決算報告

一般会計歳入 265億 742万円



一般会計歳入

一般会計の歳入は前年度に比べ、3億2,328万円(1.2%)の減となりました。

歳入のうち、市が独自に調達できる自主財源は102億6,656万円と、前年度に比べ1億2,007万円(1.2%)の減となりました。これは個人市民税が9,497万円(4.1%)減少するなど、市税が1億8,977万円(2.4%)の減となったためです。

また、国や県から交付される補助金などの依存財源は162億4,086万円と、前年度に比べ2億321万円(1.2%)の減となりました。これは、前年度に実施した特別定額給付金などにより一時的に増加した国庫支出金が23億4,892万円(31.7%)減少したものの、市債が12億4,127万円(56.8%)増加し、地方交付税が5億6,345万円(12.9%)増加するなどしたためです。

◆ 特別会計・企業会計決算

特別会計	歳入	歳出
国民健康保険事業	36億8,644万円	35億5,639万円
後期高齢者医療事業	11億5,716万円	11億5,675万円
発電事業	1億6,530万円	1億6,530万円
地域開発事業	1,053万円	368万円
牧場事業	2億8,642万円	2億8,642万円
フィッシャリーナ事業	1億3,239万円	1億3,239万円

企業会計	歳入	歳出
病院事業		
収益的事業	124億 857万円	117億8,256万円
資本的事業	8,892万円	8億2,839万円
水道事業		
収益的事業	3億4,922万円	3億4,620万円
資本的事業	2億7,578万円	4億 673万円
簡易水道事業		
収益的事業	1億2,601万円	1億2,350万円
資本的事業	1億 868万円	1億2,690万円
下水道事業		
収益的事業	17億1,310万円	16億7,517万円
資本的事業	14億3,850万円	20億4,168万円

*収益的事業については、決算額から消費税を除く。

市議会9月定例会において認定された一般会計、特別会計および企業会計の決算を報告します。皆さんから納付いただいた税金や国・県からの補助金などの使われ方や市の財政状況などをお知らせします。

◆ 問合せ 財政課 ☎ 54-2116

令和3年度 決算報告

令和3年度一般会計

歳入	265億 742万円
歳出	252億7,813万円
差引	12億2,929万円

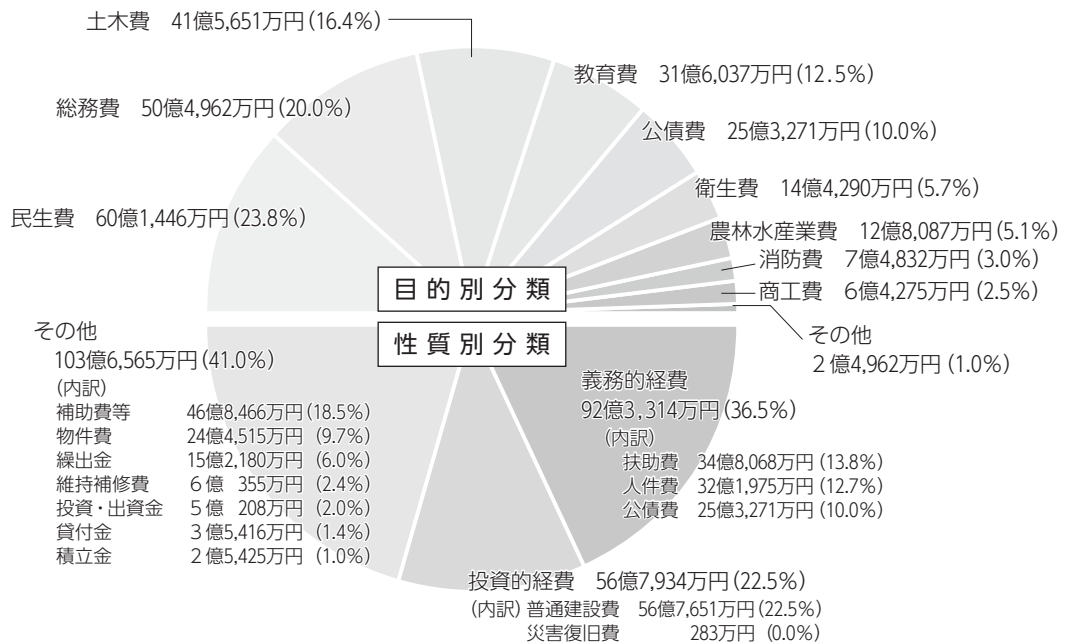
令和3年度一般会計の差引は、12億2,929万円の黒字決算となりました。そこから、令和4年度へ繰り越した事業に必要な金額を除いた実際の黒字は、9億1,409万円です。

市の財政は健全な状態を維持

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき算定された指標(表1)は、イエローカードである早期健全化基準値を全て下回っており、また実質公債費比率、将来負担比率ともに、財政状況は健全な状態を維持しています。

市債残高(表2)は前年度より増となりました。社会資本整備分の借入れにあたっては、地方交付税措置のある市債を最大限活用することで、市の実質的要負担額の抑制に努めています。

一般会計歳出 252億7,813万円



一般会計歳出

一般会計の歳出は前年度に比べ6億9,376万円(2.7%)の減となりました。

歳出のうち、目的別で見た場合、最も大きいのは民生費で、主に高齢者福祉や障がい者福祉、子育て支援などに使われたお金です。前年度に比べ2億9,042万円(5.1%)の増となりました。次いで大きいのは総務費で、主に新型コロナウイルス感染症対策事業費であり、住民税非課税世帯等臨時特別給付金や中小学校の感染症対策などに使われたお金です。前年度に比べ24億3,111万円(32.5%)の減となりました。これは、前年度に実施した特別定額給付金の事業が終了したことによるものです。

また、性質別で見た場合、最も大きいのは普通建設費で、防災行政無線デジタル化整備事業費や道の駅整備事業費などの工事費に使われました。

表1 財政指標からみた黒部市の財政状況

指標名	指標の概要	R3年度 (R2年度)	早期健全化 基準値 (イエローカード)	財政再建 基準値 (レッドカード)
実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の比率	— (—)	12.90%	20.00%
連結実質赤字比率	全会計を対象とした赤字の比率	— (—)	17.90%	30.00%
実質公債費比率	収入から借金返済等に充てられた比率	10.9% (11.6%)	25.0%	35.0%
将来負担比率	収入に対して将来負担が見込まれる負債の比率	111.5% (104.5%)	350.0%	
資金不足比率	公営企業ごとの資金不足額の事業規模に対する比率	— (—)	経営健全化基準値 20.0%	

*赤字額および資金不足額がないため、実質赤字比率、連結実質赤字比率、資金不足比率は「—」と表示

表2 市債残高と地方交付税措置(見込)額

	令和3年度	令和2年度
市債残高(A)	313億4,307万円	303億4,799万円
(主な内訳)		
社会資本整備分	203億3,221万円	189億9,476万円
臨時財政対策債	101億9,481万円	101億8,482万円
地方交付税措置(見込)額(B)	197億 912万円	193億3,040万円
市の実質的要負担額(A-B)	116億3,395万円	110億1,759万円

市債とは

借金による資金調達のことです。

市債残高のうち、社会資本整備分は、道路、小中学校等の整備に要した借金です。臨時財政対策債は、本来国から交付される地方交付税の一部を、市が代わりに借入したもので、この返済相当額は後年度に地方交付税で全額措置されます。